

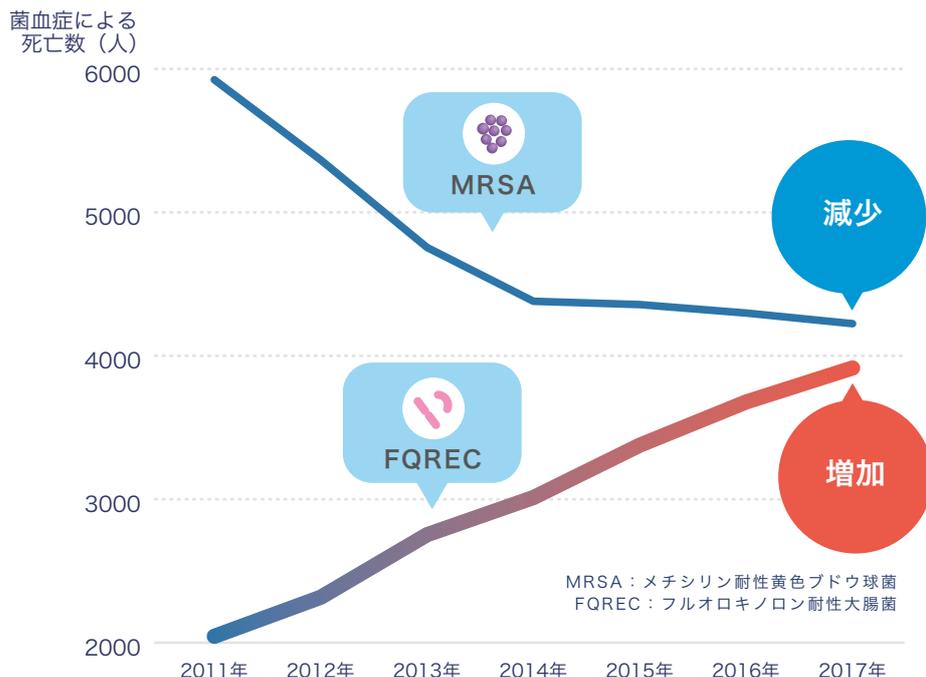
知ろう AMR、考えようあなたのクスリ

# データで振り返る薬剤耐性の現状2019

Antimicrobial Resistance: AMR

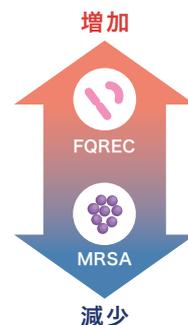
MRSA菌血症とフルオロキノロン耐性大腸菌菌血症で  
年間約8,000名が死亡

MRSAおよびFQRECによる菌血症死亡数(推定)の推移



## MRSAは低下、FQRECは増加に

MRSA菌血症による死亡数は減少している一方で、FQREC菌血症による年間死亡数は2011年から2017年まで次第に増加しています。これは大腸菌菌血症全体の増加に加え、大腸菌のフルオロキノロン耐性が増加しているためと考えられます。

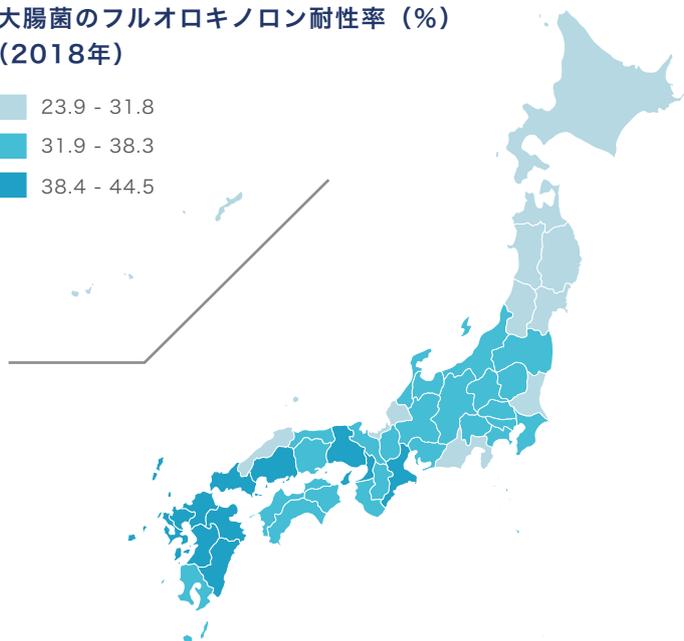


参照URL [http://amr.ncgm.go.jp/pdf/20191205\\_press.pdf](http://amr.ncgm.go.jp/pdf/20191205_press.pdf)  
参照文献 <https://doi.org/10.1016/j.jiac.2019.10.017>

薬剤耐性や抗菌薬使用量には  
地域差がある

大腸菌のフルオロキノロン耐性率 (%)  
(2018年)

- 23.9 - 31.8
- 31.9 - 38.3
- 38.4 - 44.5



## 薬剤耐性 (AMR) ワンヘルスプラットフォームが完成

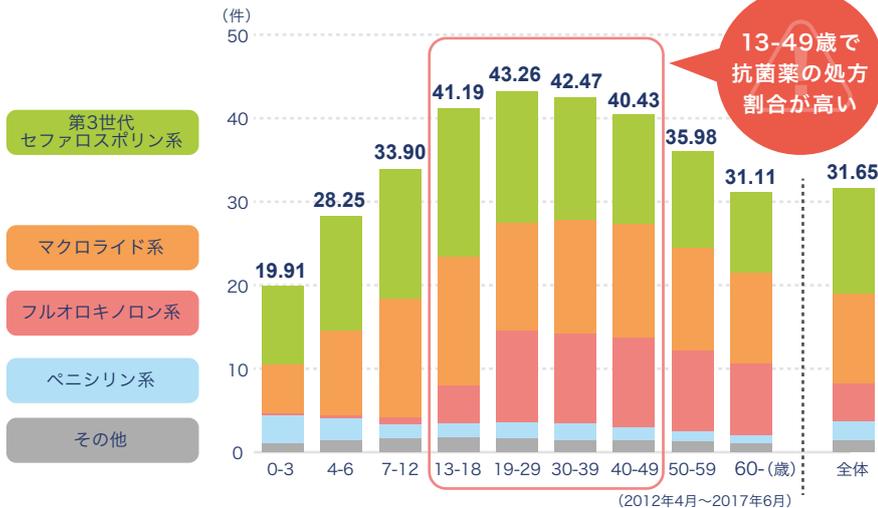
AMR対策に関連した各分野における薬剤耐性菌の検出状況や抗菌薬使用量、予防への取り組み状況、意識調査等の既存のサーベイランスデータや研究データなどを見ることができます。



参照URL <https://amr-onehealth-platform.ncgm.go.jp/home>

# 急性気道感染症の多くに 抗菌薬が処方されている

年齢群別急性気道感染症100受診あたりの抗菌薬処方件数



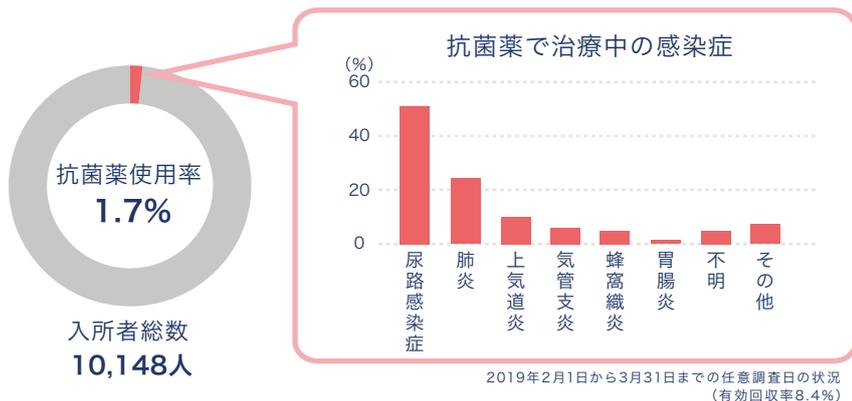
## 30%を超える受診例に 抗菌薬が処方されている

急性気道感染症に対して抗菌薬が処方されていたのは100受診あたり31.65件で、広域抗菌薬（第3世代セファロスポリン系、マクロライド系、フルオロキノロン系）が88.6%を占めていました。年齢群別では、高齢者よりも13-49歳で抗菌薬の処方される割合が高くなっていました。

参照URL: [http://amr.ncgm.go.jp/pdf/20191126\\_press.pdf](http://amr.ncgm.go.jp/pdf/20191126_press.pdf)  
 参考文献: <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0223835>

# 介護老人保健施設における 感染症の実態が明らかに

介護老人保健施設における医療関連感染症および抗菌薬使用に関する調査



## 介護老人保健施設での抗菌薬使用の上位は尿路感染症、肺炎、上気道炎

施設の状況に応じた抗菌薬適正使用支援と、基本的な感染管理体制がとれるような支援が必要と考えられます。

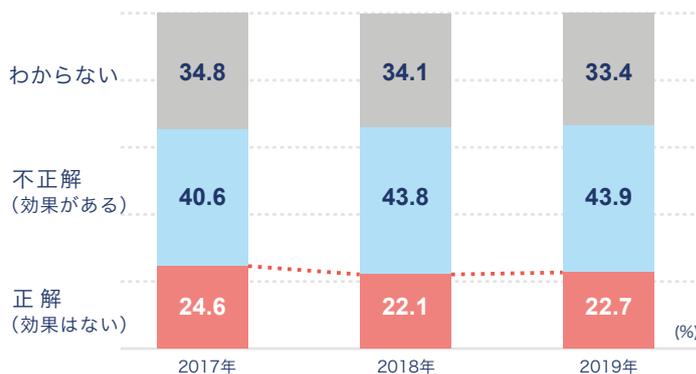


参照URL [http://amr.ncgm.go.jp/pdf/20191125\\_report.pdf](http://amr.ncgm.go.jp/pdf/20191125_report.pdf)

# 抗菌薬に関する正しい知識は なかなか広まらない

抗菌薬に関する一般国民の知識

風邪やインフルエンザに抗菌薬（抗生物質）は効果的か？



## 正しい知識を持つ人の割合は変わらず

風邪やインフルエンザに抗菌薬は効果がありません。正しい知識を持つ人の割合は、この数年、25%以下にとどまっています。AMR臨床リファレンスセンターは今後もさまざまな情報を伝えていきます。

